

武生商工会議所
管内事業所景気動向調査 平成29年7-9月期

調査期間 平成29年10月10日～10月20日

調査票配布数 499 件

調査回答件数 98 件

回収率 19.6%

今期：平成29年7-9月期 前期：平成29年4-6月期 来期：平成29年10-12月期

(1) 業種・従業員規模

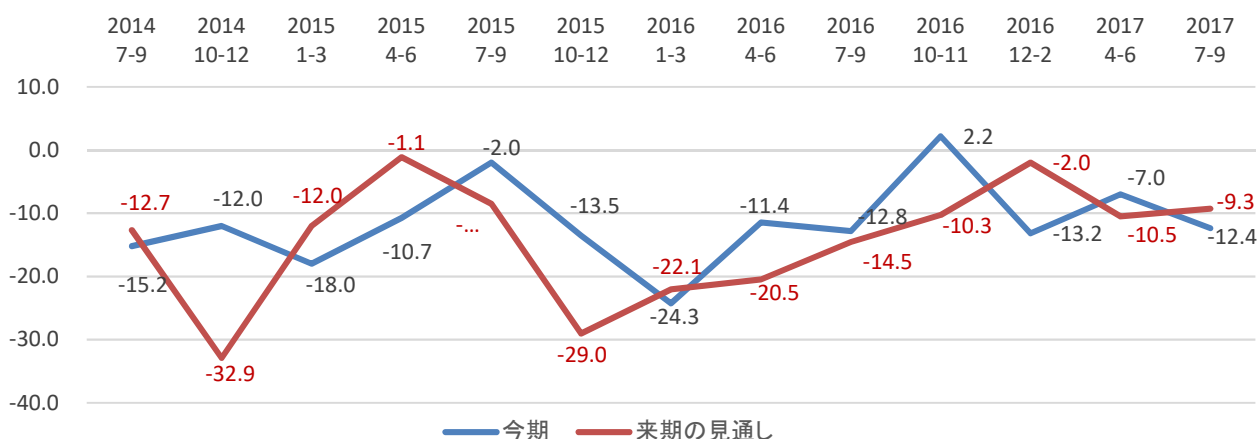
	①	②	③	④	⑤	無回答	合計	割合
	5人以下	20人以下	50人以下	100人未満	100人以上			
①製造業	18	2	0	0	0	0	20	20.4%
②卸売業	15	0	0	0	0	0	15	15.3%
③小売業	17	0	1	0	0	0	18	18.4%
④飲食・サービス業	21	4	1	0	0	0	26	26.5%
⑤建設業	14	2	0	0	0	0	16	16.3%
⑥その他	2	0	0	0	0	0	2	2.0%
無回答	1	0	0	0	0	0	1	1.0%
合計	88	8	2	0	0	0	98	100.0%
割合	89.8%	8.2%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

【問1 今期の景気状況について】

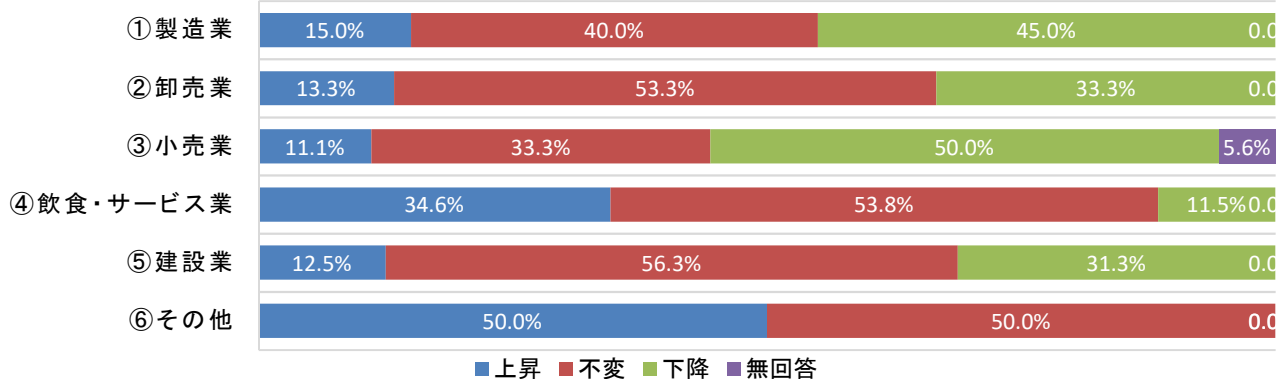
今期の景気状況について、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が前回調査時（2017年4-6月期）と比べ5.4ポイント減少した▲12.4と、悪化傾向に転じている。来期の見通しD I 値については、前期と比較して1.2ポイント増加した▲9.3となっており、今後緩やかに好転傾向に転じることが予想される。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値は、飲食・サービス業においてのみ好転傾向にあり、それ以外の業種では悪化傾向となっている。来期の見通しD I 値については、飲食・サービス業、卸売業、小売業にて好転傾向にあり、製造業、建設業において悪化傾向となっている。今期および来期の予測ともに、飲食・サービス業の好転傾向が目立ち、建設業において著しい悪化傾向となった。

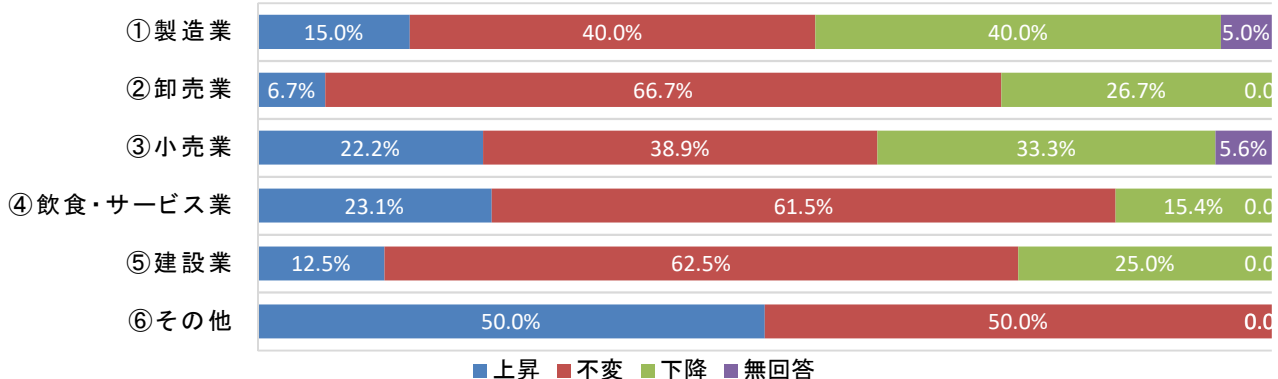
景況D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



Q1 業種別 今期の景況状況 前期と比較



Q1 業種別 今期の景況状況 来期の見通し

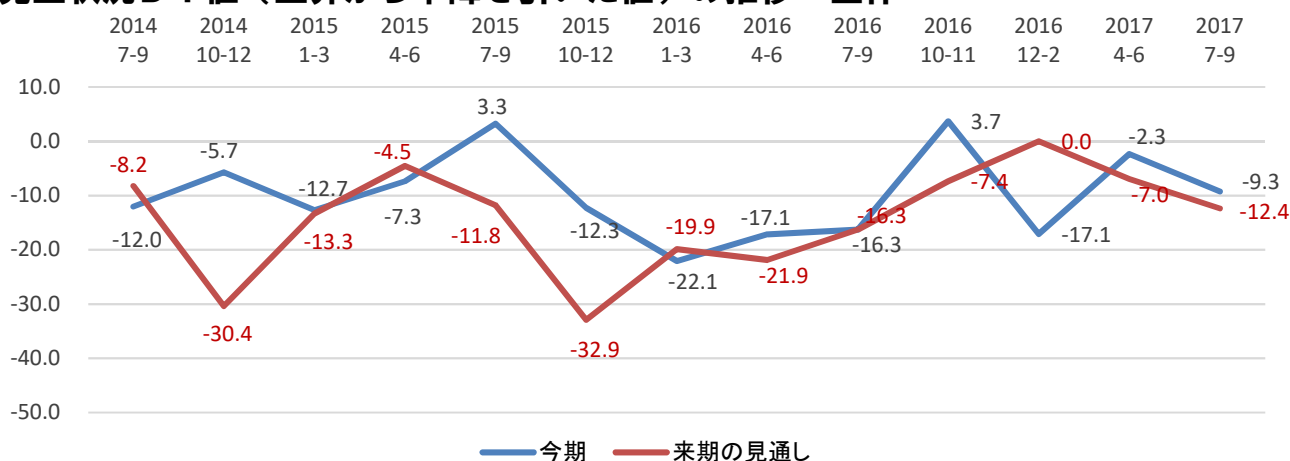


【問2 今期の売上高（受注高・出荷額等）について】

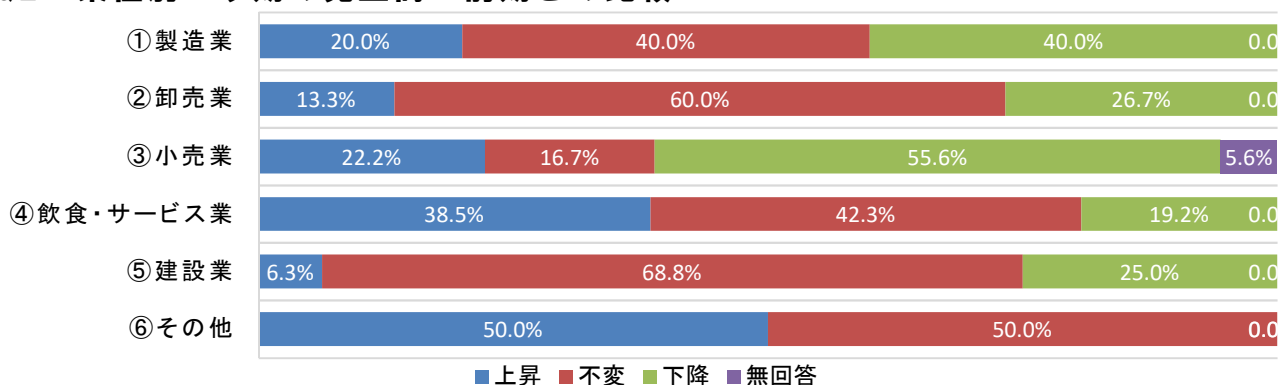
今期の売上高について、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が前回調査時と比べ7.0ポイント減少した▲9.3となり、景気状況と同じく悪化傾向に転じている。来期の見通しD I 値については、5.4ポイント減少した▲12.4となっており、今期の売上状況からさらに悪化傾向に転じることが予想される。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値は、飲食・サービス業のみ好転傾向にあり、それ以外は悪化傾向に転じている。特に建設業における悪化傾向が大きい。来期の見通しD I 値については、製造業、飲食・サービス業にて好転傾向にあり、それ以外の業種で悪化傾向となった。景気状況同様、今期および来期の予測ともに、飲食・サービス業の好転傾向が目立ち、建設業において著しい悪化傾向となった。

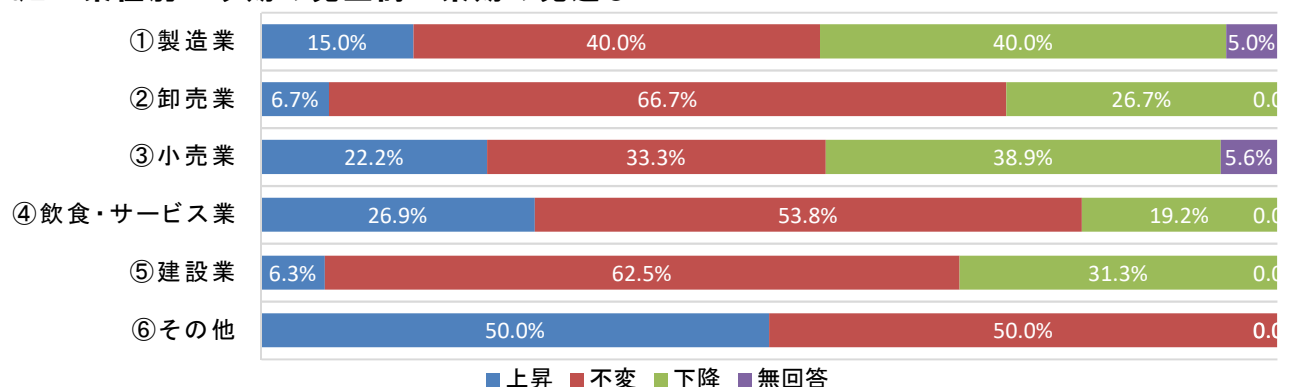
売上状況D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



Q2 業種別 今期の売上高 前期との比較



Q2 業種別 今期の売上高 来期の見通し

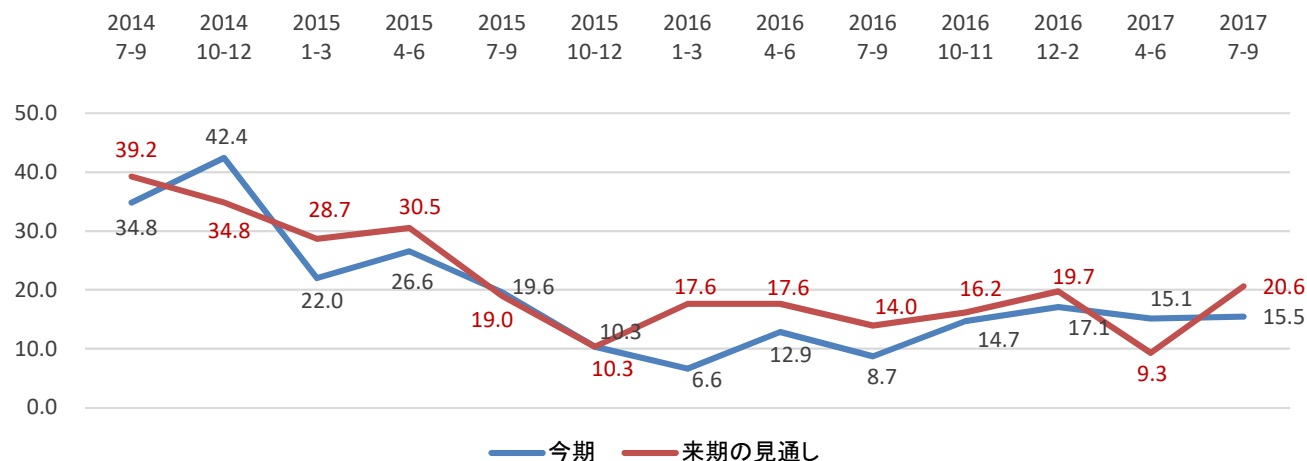


【問3 今期の仕入単価（商品・原材料等）について】

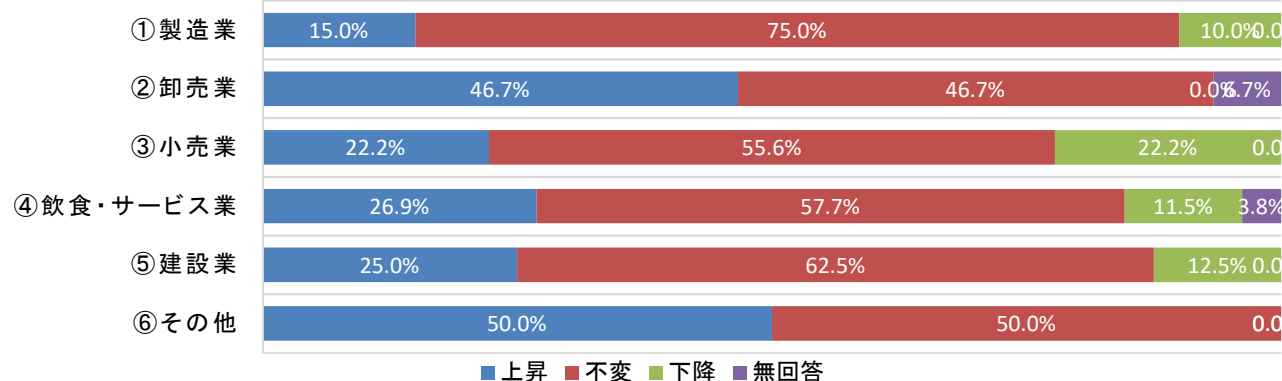
今期の仕入単価について、D I 値（上昇から下降を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が0.4ポイント増加した15.5となり、前回から増加傾向に転じた。来期の見通しD I 値については、11.3ポイント増加した20.6となり、来期以降はさらに大きく増加傾向に転じると予想される。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値については、小売業、建設業以外の業種にて増加傾向となり、卸売業の増加傾向が顕著に見られた。また来期の見通しD I 値についても、小売業以外の業種において増加傾向が顕著にみられ、来期以降の仕入単価の高騰が予想される。

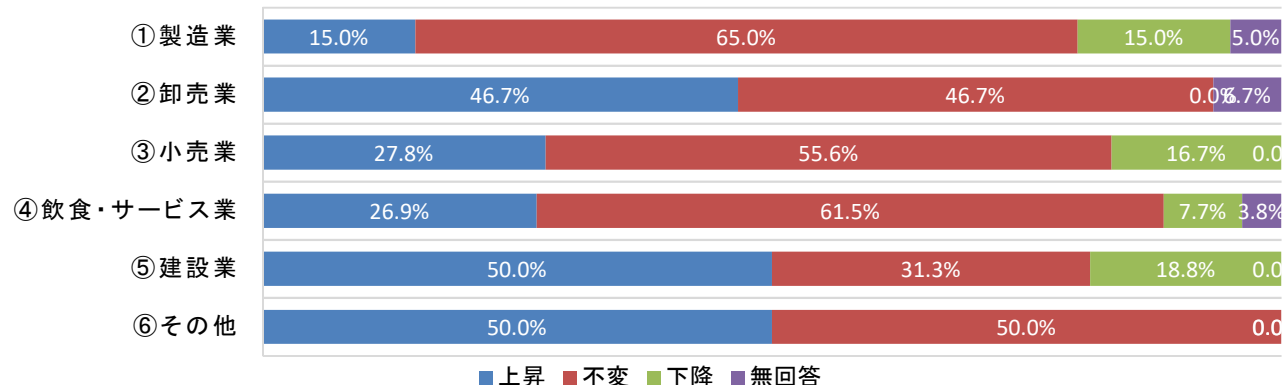
仕入れ価格D I 値（上昇から下降を引いた値）の推移 全体



Q3 業種別 今期の仕入れ単価 前期との比較



Q3 業種別 今期の仕入れ単価 来期の見通し

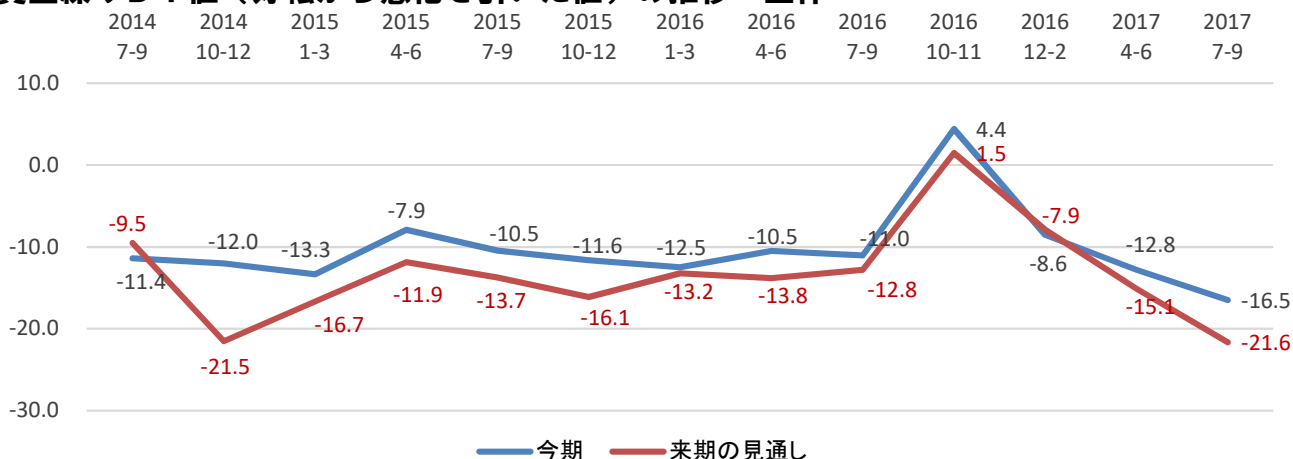


【問4 今期の資金繰りについて】

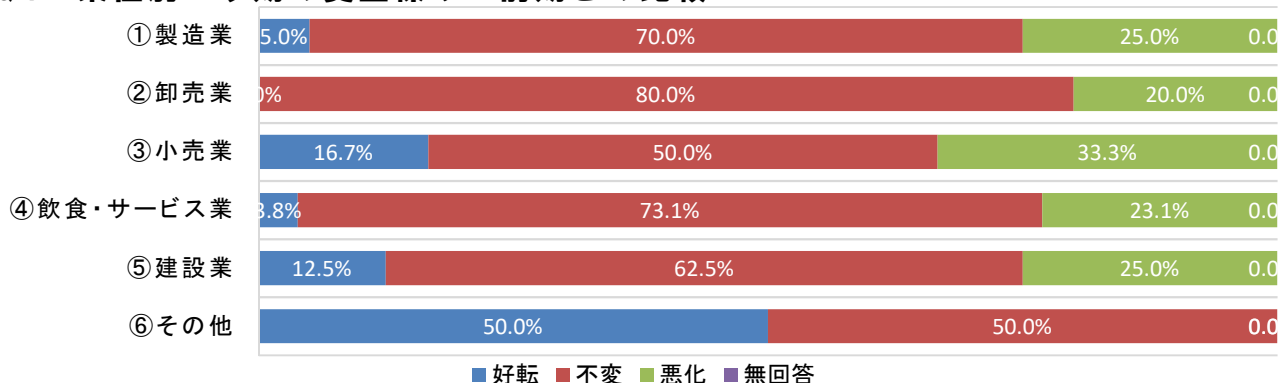
今期の資金繰りについて、D I 値（好転から悪化を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が3.7ポイント減少した▲16.5となり、前期からさらに悪化傾向となった。来期の見通しD I 値については、前回調査時と比較して6.5ポイント減少した▲21.6となっており、今期からさらに悪化傾向となることが予想される。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値については、製造業、小売業以外の業種で悪化傾向にあり、来期の見通しD I 値においても、小売業以外の業種で悪化傾向となっている。資金繰りについては、飲食・サービス業、建設業における悪化傾向が著しく、全体での悪化傾向にも大きく影響していると思われる。

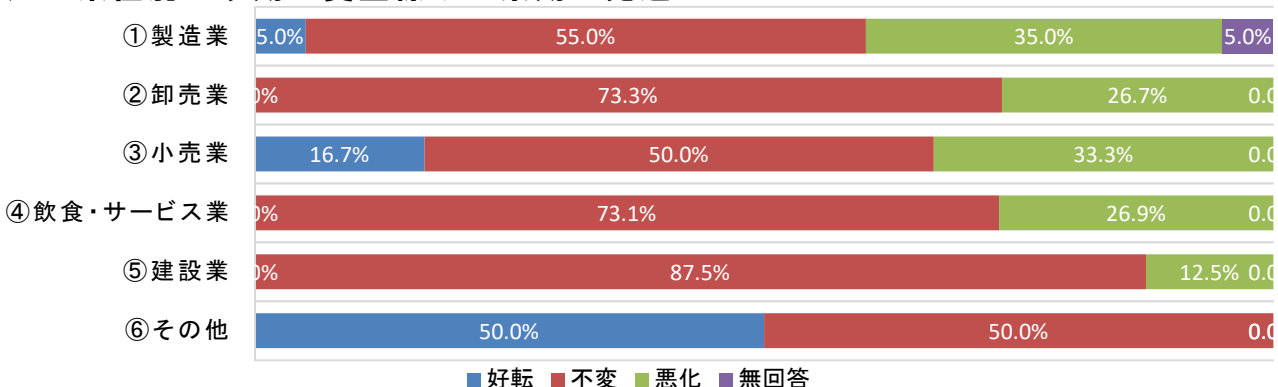
資金繰りD I 値（好転から悪化を引いた値）の推移 全体



Q4 業種別 今期の資金繰り 前期との比較



Q4 業種別 今期の資金繰り 来期の見通し

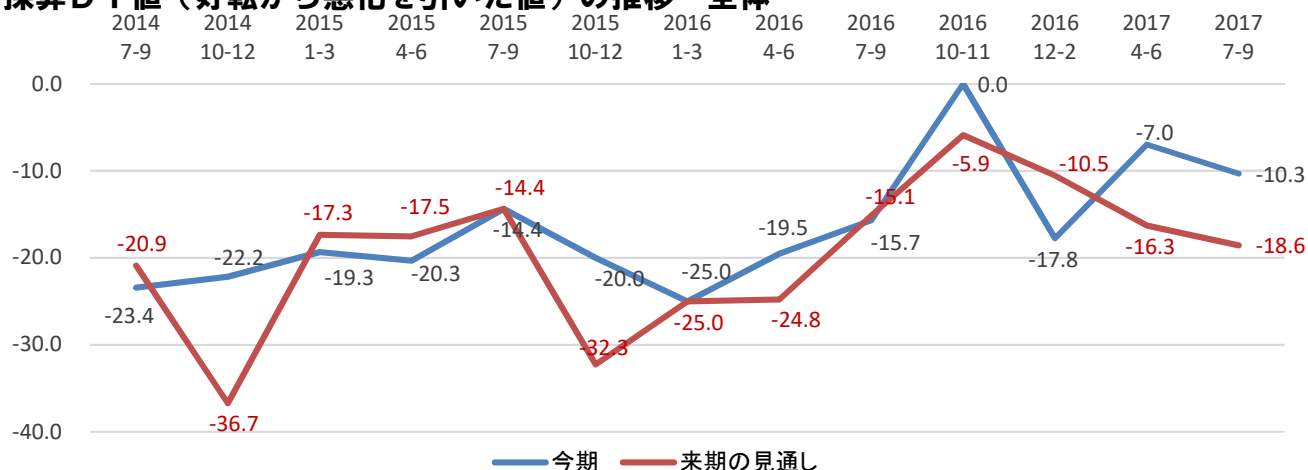


【問5 今期の採算について】

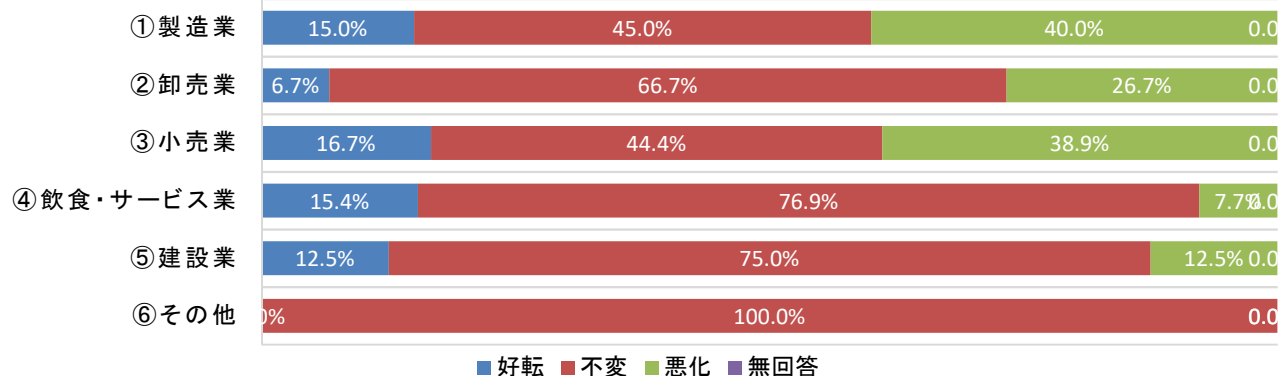
今期の採算について、D I 値（好転から悪化を引いた値）で見ると、前期と比較したD I 値が前回調査時と比べ3.3ポイント減少した▲10.3となり、若干の悪化傾向に転じている。来期の見通しD I 値については、2.3ポイント減少した▲18.6となっており、今期と比べると大幅な悪化傾向に転じることが予想される。

業種別に見ると、前期と比較したD I 値は、小売業、建設業以外の業種において悪化傾向にあり、来期の見通しD I 値については、小売業以外の業種において悪化傾向となる結果となった。採算においては、卸売業にて著しい悪化傾向が目立った。

採算D I 値（好転から悪化を引いた値）の推移 全体



Q5 業種別 今期の採算 前期との比較



Q5 業種別 今期の採算 来期の見通し

